

第 54 回（令和 8 年度）
日本歯科医史学会総会並びに学術大会

会 長 佐久間 泰 司

会 期 令和 8 年 9 月 26 日（土）
会 場 大阪・天満研修センター

大会長挨拶

第54回日本歯科医史学会学術大会 開催にあたって

第54回日本歯科医史学会学術大会 大会長
佐久間 泰司（大阪歯科大学）

Yasushi Sakuma
Osaka Dental University

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび2026年9月26日（土）、大阪において「第54回日本歯科医史学会学術大会」を開催する運びとなりました。大阪での開催は1991年に恩師である筒井正弘教授が大会長を務められて以来、35年ぶり2度目となります。伝統ある本学会の学術大会を担当させていただくことは、大変光栄であるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

開催地である大阪は、近代歯科医学教育の黎明期、東京、小倉とともに極めて重要な役割を果たしてきた歴史ある街です。明治期この地に大阪歯科大学・大阪歯科大学専門学校が置かれ、先人たちは未来の歯科医学の発展のために情熱を注ぎできました。その志は、今なおこの地に息づいています。

本大会では歯科医史学の視野をさらに広げ、他分野との有機的な連携を深める試みをご用意いたしました。社会言語学をご専門とされる静岡理科大学教授の谷口ジョイ先生をお招きし、「福祉言語学の新たな展開—限界集落でのフィールドワークから—」と題してご講演いただきます。医療や歯科医療の本質は、人と人とのコミュニケーション

にあります。ご講演は超高齢社会を迎えた現代の歯科医療や地域医療のあり方、さらにはその歴史の変遷を考えるうえでも、多くの示唆と深いインスピレーションを与えてくださるものと確信しております。なお谷口教授は「ある言語学者の事件簿」というベストセラーを出版されており、事前に目を通されることを強くお勧めします。

会場は、JR大阪環状線「天満駅」（大阪駅から1駅）より徒歩数分の天満研修センターです。学術大会終了後の17時から、会員相互の親睦を深める場として会長招宴を予定しております。日頃の研究発表や活発な議論の疲れを癒やしていただくとともに、ざっくばらんな情報交換や会員同士の交流の機会として、ぜひ多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

本大会が、参加される皆様にとって実り多い情報交換と活発な議論の場となり、歯科医史学のさらなる発展に寄与することを心より願っております。最新情報につきましては、公式note (<https://note.com/jsdh54osaka>) にて随時発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

初秋の大阪にて、多くの皆様にお目にかかれすことを、心より楽しみにしております。

第 54 回（令和 8 年度） 日本歯科医史学会総会並びに学術大会

会期：令和 8 年 9 月 26 日（土）

会場：大阪・天満研修センター

〒 530-0034 大阪市北区錦町 2-21

日 程 表

8:55	9:00~12:00	12:00~13:00	13:00~13:30	13:30~15:50	16:00~17:00	17:05~19:00
開会挨拶	一般演題 ①②③	休 憩 記念写真 役員会 昼 食	総 会	一般演題 ④⑤⑥	特別講演	懇親会

参加者の方へ

- 1) 当日のご参加の会員は会場受付で必ず参加登録をして下さい。当日会費は **5,000 円**です。
- 2) 本学会入会希望者は新入会受付にて入会金 **1,000 円**、年会費 **10,000 円**をご納入下さい。
- 3) 午前中の一般演題終了後、記念撮影、役員会を開催します。
- 4) 昼食の飲食店は JR 天満駅付近に多数あります。なお役員会では昼食をご用意します。
- 5) 会長招宴（懇親会）を 17 時過ぎより JR 天満駅すぐの「満天星（別名紫微星）」にて行います。事前予約不要・参加無料です。ふるってご参加ください。

一般演題の演者の方へ

- 1) 発表時間 8 分，討論 2 分の計 10 分です。演者は、座長の指示に従って下さい。
- 2) 発表時間は厳守して下さい。進行が遅れますと、後続の演者の討論時間が短くなりますので協力ください。
- 3) 次演者は指定の席にご着席下さい。
- 4) スライド映写は 1 面です。発表スライドデータは Windows, MAC ともに Microsoft PowerPoint 2016 以降で作成して下さい。学会の運営を円滑に行うため、9月14日(月)ま

でに、スライドデータを電子メールまたは媒体（CD または USB メモリ）にて下記まで送付願います。

- ・電子メールアドレス：jsdh@gakujiyutsusha.co.jp
 - ・媒体送付先：学会事務局（株式会社 学術社内）
- 5) 発表を終了された方は講演要旨を 1200 字程度にまとめて上記事務局まで必ずご提出下さい。

座長の方へ

- 1) 発表時間 8 分，討論 2 分の計 10 分です。座長の待ち時間中の進行はご一任致します。
- 2) 次座長は指定の席にご着席下さい。

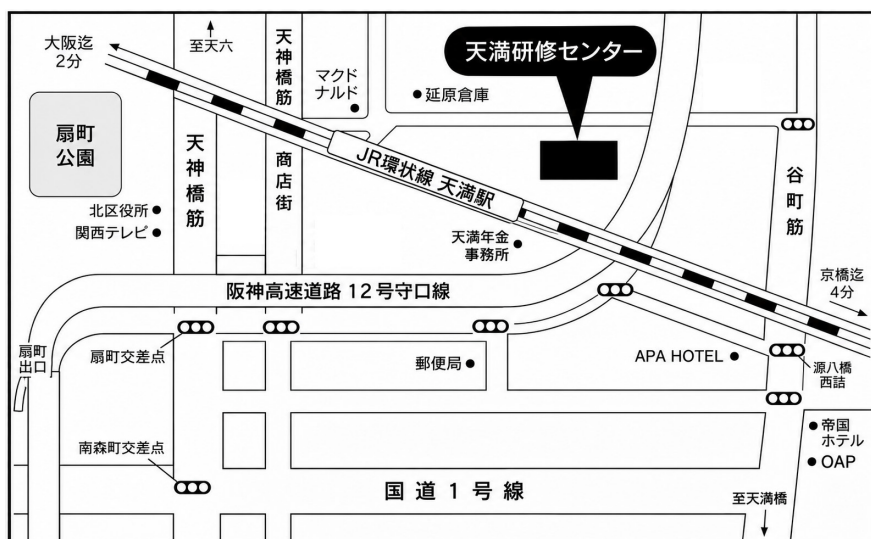
記念写真

- 1) 記念写真をお申し込みの方は、受付に写真郵送用封筒がありますので送付先をご記入のうえ提出して下さい。なお、記念写真代は **1,000 円**です。
- 2) 記念写真の撮影は、昼の休憩の時間に行います。

役員会

- 1) 記念写真の撮影後に役員会を開催しますので、役員会室にお集まり下さい。

会場案内図



JR 大阪駅からお越しの場合

JR 大阪駅より、JR 大阪環状線（外回り・京橋方面行き）に乗車。

次の「JR 天満駅」で下車します（所要時間：約 2 分）。

改札（1 箇所）を出て右手に進み、「立ち飲み屋 中トロと豚足」の左側にある小道に入ります。そのまま直進し、小道の左手に「延原倉庫（大型物流倉庫）」が見えていれば正しいルートです。徒歩約 5 分。
※ご注意：小道に案内看板はありませんが、左側に「延原倉庫」が見えていれば正しく進めています。

各空港・主要駅からのアクセス

新大阪駅から

JR 京都線（大阪方面行き）で「JR 大阪駅」へ（1 駅／約 4 分）。以降は上記のルートでお越しください。
大阪空港（伊丹空港）から

リムジンバスで「梅田（大阪駅）」へ移動し、JR 大阪駅より上記のルートでお越しください。

関西国際空港から

JR 関空快速で「JR 天王寺駅」へ。JR 大阪環状線（内回り・京橋方面行き）に乗り換え、7 駅目の「JR 天満駅」で下車し、以降は上記のルートでお越しください。

第 54 回日本歯科医史学会学術大会次第

8:55 ～ 開会挨拶

一般演題① 9:00 ～ 10:00

座長：石井拓男

- 1) 「弱法師」(下村観山筆) にみる美術解剖の考察

西巻明彦

- 2) 保険点数本の推移(3-1) 出版のきっかけ 昭和 28 年 12 月 10 日 初版発行

○大場浩子 大場 宏 別部智司

- 3) 保険点数本の推移(3-2) 出版のきっかけ 昭和 30 年 9 月 15 日 初版発行

○大場浩子 大場 宏 別部智司

- 4) 保険点数本の推移(3-3) 出版のきっかけ 昭和 33 年 12 月 10 日 初版発行

○大場浩子 大場 宏 別部智司

- 5) 保険点数本の推移(3-4) 出版のきっかけ 一社会保障年表一

○大場浩子 大場 宏 別部智司

- 6) 保険点数本の推移(4-1) 厚生省：歯槽膿漏症の治療指針の発展史(表)

○大場浩子 大場 宏 別部智司

- 7) 保険点数本の推移(4-2) 厚生省：歯槽膿漏症の治療指針の発展史(社会保障年表)

○大場浩子 大場 宏 別部智司

10:00 ～ 10:10 休憩

一般演題② 10:10 ～ 11:00

座長：安細敏弘

- 8) 江戸都市空間にみる口中医

西巻明彦

- 9) 『御医師育才呈案』の考察

西巻明彦

- 10) 鑑真の薬物療法

王 宝禮

11) 江戸時代末期から明治時代の引札に見る歯科診療需要と提供者の転換点

○鈴木 彰	大野肅英	松山知明
鹿郷満保	吉田直人	山田晴樹
遠藤則子		

12) 松井源左衛門は歯磨きを商っていたのか

佐藤恭道

11:00～11:10 休憩

一般演題③ 11:10～11:50

座長：小林 馨

13) 森林太郎講演の「齲蝕予防論」と徴兵検査

○石井拓男	大澤航介	平田創一郎
-------	------	-------

14) 歯科医療技術評価提案書の内容および採択率の変遷について

○石橋 肇	卯田昭夫	下坂典立
鈴木正敏	山口秀紀	渋谷 鑛

15) 明治時代初期の新しい専門職についての考察

○松山知明	大野肅英	鈴木 彰
鹿郷満保	吉田直人	遠藤則子
山田晴樹		

16) 女子歯科医学専門学校の募集定員と入学・卒業者数推移

永藤欣久

11:50～12:00 休憩

12:00～13:00 記念写真・役員会（別室）・昼食（注：近所に飲食店多数）

13:00～13:30 総 会

一般演題④ 13:30～14:20

座長：石橋 肇

17) 第七回日本医学会（大正 15 年 1926）における歯科学分科会会長決定の顛末

○渋谷 鑛	石橋 肇	山口秀紀
卯田昭夫	下坂典立	鈴木正敏
脇田雅文	田中晃伸	

18) ケルスス医学書からみた口腔疾患の臨床的対応について

○安細敏弘 竹原直道

19) Edward Hartley Angle が発表した「不正咬合の分類」

野上ゆかり

20) 「10 月 11 日 歯科麻酔の日」設定の機運に向けて(1) 日本歯科麻酔学会の発足

門前弘美

21) 「10 月 11 日 歯科麻酔の日」設定の機運に向けて(2) 古書 理論實際「歯科麻酔法」ひも解く

門前弘美

14:20 ~ 14:30 休憩

一般演題⑤ 14:30 ~ 15:10

座長：山口秀紀

22) 西洋の口腔衛生用具の歴史をたどる

～小楊枝・歯磨き粉(洗口剤)・タングクリーナー・スケーラー・歯ブラシ(植毛式)を紹介(歯の博物館所蔵品)～

○鹿郷満保 大野肅英 鈴木 彰

松山知明 吉田直人 山田晴樹

遠藤則子

23) 本学に育つ医聖 Hippocrates に由来する 3 本の木

佐藤利英

24) 歯科医術開業試験について受験関係数値情報の再検証―第 1 編 明治 17 年から 25 年まで―

五十嵐康夫

25) 歯科医術開業試験及第者の族籍についての経年的検討―官報と東京歯科資料との比較―

五十嵐康夫

15:10 ~ 15:20 休憩

一般演題⑥ 15:20 ~ 15:50

座長：佐藤利英

26) 歯并が悪い irregular・歯列不整(歯科矯正)は、いつ伝来したのか?

養生書 Hygiene に見られた歯列不整の譯述について

小澤 奏

27) 日本における口内法 X 線撮影導入の経緯

○小林 馨 五十嵐千浪 若江五月

駒橋 武 伊東宏和 枝 卓志

28) 高山歯科医学院第2回卒業生・中村五六の生涯と業績

○上田祥士 石井拓男 大澤 航介
平田創一郎

15:50～16:00 休憩

特別講演 16:00～17:00

座長：佐久間泰司

福祉言語学の新たな展開—限界集落でのフィールドワークから—

谷口ジョイ

懇親会 17:05～19:00

満天星（会場から5分 JR天満駅から15秒）終了時刻は延長あり

誌上発表

29) 立効散と医療環境の考察（誌上発表）

西巻明彦